

地籍シンポジウム in Tokyo

参加費
無料

～市民社会における安心・安全と地図・地籍・登記の役割～

不動産の表示登記制度が50年を迎える平成22年は、土地家屋調査士制度制定60年の節目の年でもあります。

この記念すべき年の幕開けとして、日本土地家屋調査士会連合会は、「市民社会における安心・安全と地図・地籍・登記の役割」をテーマとした地籍シンポジウムを開催します。

平成18年京都で開催した「第5回国際地籍シンポジウム／土地家屋調査士全国大会」で採択された「京都地籍宣言」を土台として、より多くの人々が、地域の枠組やそれぞれ専門分野を超えた幅広いつながりを持ち、新しい時代を切り開くエネルギーとなることを念願し、多くの方のご参加をお待ちしております。

【シンポジウムの概要】

特別報告としてインドネシア、アチェ州からの津波による災害と現地の復興の様子、地籍やこれを管理する重要性について映像を交えた現地報告。

基調講演は、長年にわたって地図・地籍の促進に情熱をかけ、民主党の地籍調査・登記所備付地図整備の促進策に関するプロジェクトチームが発表した提言(6月24日)に関与された前田武志議員の講演。

特別報告・基調講演の後のパネリストには、法務省・国土交通省で中核的な役割を担う方々をはじめ各分野で地図・地籍・登記に関係する人々をお迎えし、豊かな国づくり・まちづくりの基盤を担う地図・地籍の整備に向けた活動の一端を披歴願う。

コーディネーターには、鎌田薫氏をお迎えして、シンポジウムに参加するすべての方々がそれぞれの分野で果たす役割を考えることができる「ひととき」を提供したいと思います。

■日時：平成22年 **1月14日(木)**
午後1時30分～午後5時30分
(開場:午後1時)

■場所：東京プリンスホテル
「プロビデンスホール」
東京都港区芝公園3-3-1 TEL.03-3432-1111

主催：日本土地家屋調査士会連合会

基調講演

「市民生活と地図・地籍(仮題)」

前田 武志氏(民主党 常任幹事会 議長／土地家屋調査士制度推進議員連盟会長、
地籍調査・登記所備付地図整備の促進策に関するプロジェクトチーム副座長)

特別報告

「インドネシア、アチェ州からの報告」

坂本 勇 氏(元吉備国際大学教授、JICA専門家)

パネルディスカッション

「市民社会における安心・安全と地図・地籍・登記の役割」

コーディネーター

鎌田 薫 氏(早稲田大学大学院法務研究科教授)

パネリスト

前田 幸保氏(法務省民事局民事第二課補佐官)

安藤 暁史氏(国土交通省土地・水資源局国土調査課課長補佐)

坂本 勇 氏(元吉備国際大学教授、JICA専門家)

宮崎 清博氏(社団法人全国測量設計業協会連合会業務部長 元JICA専門家)

上條 勝也氏(国土建設学院理事長)

小林 庄次氏(日本土地家屋調査士会連合会ADRセンター委員長)

会場へ
のご案内



電車で・JR線・東京モノレール浜松町駅から徒歩10分。
・都営地下鉄三田線御成門駅(A1)から徒歩1分。
・都営浅草線大江戸線大門駅(A6)から徒歩7分。
・都営地下鉄大江戸線赤羽橋駅から徒歩7分。
・地下鉄日比谷線神谷町駅(3番)から徒歩10分。
シャトルバスで・JR浜松町駅北口から約5分

参加申込書(切り取らずにこのままFAXにてご返信ください)

送付先 **FAX:03-3292-0059**
(地籍シンポジウム受付係)

お名前：

ご所属：

ご連絡先 電話：

FAX：

ご提供いただいた個人情報は、個人情報保護法に従い厳重に管理し、参加人数把握の目的のためのみに使用いたします。
また、この個人情報は、本シンポジウム終了後、直ちに廃棄もしくは消去いたします。

(お問合せ先：日本土地家屋調査士会連合会 03-3292-0050)

